

構図のバリエーションや季節ごとの現象、その場に行かないと見ることができない景色を写真を通して見させてもらって、心が豊かになりました。何気ない土木施設が、生活に密着して役立って、いろいろな観点から見ていただいているということを感じられて、良い作品ばかりだなと思いました。世の中のトレンドが完璧やベストを求めなくなっている中で、このコンテストのレベルが下がることなく今後も続いていくことを期待しています。

## 一般部門

### 【最優秀賞】

#### ① 2024年 地中の旅：岩下 盛路

《本人コメント》

1日も早い開通を願いながら日々尽力されている方々の思いを、写真を通じて皆さまに伝えたいという願いを込めて撮影しました。

### 【優秀賞】

#### ② ファイナルアプローチ：山田 宏作

《本人コメント》

魚眼レンズでストロボ発光後5秒間露光かけて、機体と光跡が誘導に導かれて滑走路に着陸するドラマチックなシーンです。

#### ③ 「ノミの音」：中濱 健二

《本人コメント》

西郷隆盛が、水田を作る目的で貫いた馬込の貫。岩肌に触れると、当時のノミの音・汗・声が聴えて来そう。土木建設の原点である。

### 【入選】

#### ④ 朝焼けの詩を紡ぐ架構：児玉 さとみ

《本人コメント》

朝焼けの柔らかな光が橋を包み自然と土木の美しさを表現してみました。

#### ⑤ 初日の出：大迫 拓郎

《本人コメント》

元旦の寒い朝、好天に恵まれ初日の出を待つ人々多数。気嵐の中、初日の出に歓声がおこった。

#### ⑥ 甌のタウシュベツ橋梁：水口 和史

《本人コメント》

北海道の士幌町にあるタウシュベツ橋梁に似ていると思います。断面が厚く迫力があります。

#### ⑦ 夢を運んで90年：亀田 晃一

《本人コメント》

運行を開始して90年の桜島フェリー。住民の足として、経済、観光、防災の主要交通路として、桜島港とともに長時間露光で撮影した。

#### ⑧ 新春を彩る：田中 敬子

《本人コメント》

天降川上流で撮影しました。勝手は暴れ河川として何度も氾濫が有った様ですが河川工事が進んで今では穏やかな流れとなりました。

#### ⑨ 夜明けの海岸：高吉 宣良

《本人コメント》

美しい夜明とユニークな石段を撮影しました。

#### ⑩ 洋上に立つ：中村 美樹

《本人コメント》

垂水へ向かう湾岸走行中、海上調査でしょうか？時折、風や波浪等厳しい気象条件の中洋上で作業する方々が目に入りました。

## 高校生以下部門

### 【最優秀賞】

#### ① つなぐ：守屋 咲希

《本人コメント》

家の近くにある橋です。散歩をしている人、登下校で利用している人、色々な人にかかわっています。

### 【優秀賞】

#### ② 馬毛島へ：増谷 尊

《本人コメント》

テトラポッドを載せた台船が馬毛島へと出航するシーンを撮りました。巨大なテトラポットの並びは迫力がありました。

#### ③ 飛行機の道印：西田 実智

《本人コメント》

空と海がきれいで写真をとりました。

### 【入選】

#### ④ あの日の甲突川：鹿 心菜

《本人コメント》

土木についての写真を撮ろうと考えていた際に甲突川を魅力的に撮りたいと思い橋のデザインの丸い部分を利用しました。

#### ⑤ Land scape at hund：救仁郷 咲人

《本人コメント》

友達が写真を撮影した時にその手元を撮影しました。カメラを通して、甲突川とその周囲の建物がきれいに並んでいます。

#### ⑥ 鹿児島駅：有村 颯真

《本人コメント》

鹿児島駅を撮りました。レールを目立たせるためモノクロにしました。スマホで撮りました。

#### ⑦ 麦わら帽子：吉川 寧音

《本人コメント》

ふと前を見ると麦わら帽子をかぶっているおばあちゃんがありました。撮ってみると、私たちの町らしい良い写真になりました。

#### ⑧ 奄美に還る：田原 聖

《本人コメント》

奄美の壮大で美しい海は太古から変わっていない。そんな海を見ると海に引き込まれる感覚になる。このような感覚をあらわした。

#### ⑨ くすみ：森川 大翔

《本人コメント》

ホワイトバランスをグリーンに寄せて少し朽ちた雰囲気を出してみた。背景の色合いともマッチさせました。

#### ⑩ たそがれ時：根岸 るか

《本人コメント》

近所のしらさぎ橋の散歩コースをよく利用していて、夕方は特に橋にかかる夕陽がきれいで心に残る風景なので写真におさめてみました。